

2020年3月27日

令和2年度予算成立について（談話）

国民民主党政務調査会長  
泉 健太

本日成立した令和2年度予算案ですが、国民民主党は今回、反対したことをご報告申し上げます。以下、その理由をご説明いたします。

まず第一に、新型コロナウイルス対策費が計上されていない点です。政府は従来の費目に対応可能としていますが、対策費が明示されないことは予算の透明性・公開性を損ねます。

第二に、接待疑惑が続くIR（カジノを含む統合型リゾート）事業関連の費用の見直しが行われていない点です。

第三に、マイナンバーポイント還元など、効果が不確かで偏りのある事業に約2,500億という巨額の費用が計上されている点です。

その他にも、イージス・アショアやF35などの購入経費の問題など改めるべき点があります。

そもそも新型コロナウイルスの感染拡大が、国民生活と経済に大打撃を与える中、まずはその対策が最優先であるべきです。

国民民主党は、2月の衆議院予算審議において、他の野党と共同で、新型コロナウイルス対策費を求める組み替え動議を提案し、また党独自では、いち早く計30兆円の緊急経済対策を策定しました。

しかし、政府は組み替え提案に応じず、感染防止対策や経済対策についても予算に本格計上しませんでした。

また他の疑惑も放置できません。「桜を見る会」と「前夜祭」疑惑での、総理答弁とホテル側の証言の大きな食い違い。東京高検検事長の前代未聞の定年延長問題。森大臣や北村大臣の迷走答弁。また河井夫妻の公選法違反問題。そして森友問題では財務省職員の遺書から、権力からの圧力が明白となりました。

国民民主党は、新型コロナウイルス対策に関して設置された政府・与野党連絡協議会を通じ、今後も皆様の命、生活、事業、雇用を守るために提案を続けてまいります。あわせて速やかな経済対策の策定と補正予算の編成を求めています。

以上